

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 次期学習指導要領に向けて（50分）</p> <p>中央教育審議会は、平成28年12月21日、幼稚園、小・中学校と特別支援学校の学習指導要領の改訂を文部科学大臣に答申しました。</p> <p>これまでの学習指導要領は、時代の変化や子どもたちの状況、社会の要請などを踏まえ、約10年ごとに改定されてきました。このたびの新たな学習指導要領の方向性としては、子どもたちが学ぶことを通じて「何ができるようになるか」を明確にしながら、「何を学ぶか」という学習内容と「どのように学ぶか」という学びの過程を組み立て、学びの過程を質的に高めていくことを目指しています。</p> <p>小学校では、言語能力の育成から国語教育、英語教育の改善、充実が示されており、特に、英語教育では、3年生から「聞くこと」「話すこと」を中心とした外国語活動（年間35単位時間）を導入し、5年生から段階的に文字を「読むこと」「書くこと」を加え、系統性を持たせた指導を行う教科（年間70単位時間）として位置付けています。また、中学校においては、部活動についても明記されており、多岐に亘った内容となっています。新学習指導要領は、小学校が平成32年度から、中学校が33年度から完全実施されます。本市の教育委員会では、学校再編成や、小中一貫教育等々取り組むべき課題が山積しております。加えて、これから新学習指導要領への大きな作業に取り組まなくてはなりません。鶴ヶ島市の教育のために一層頑張りたいと思っています。一見まだ先のように思われますが、今の段階から準備、検討は必至と感じています。具体的な方策等はこれからと思われますが、今後、どのような検討がなされ取り組まれていくのか、以下質問します。</p> <p>(1) 本市の教育行政における現状と課題は。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 幼稚園・保育園等について イ 小学校について ウ 中学校について 	<p>市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>(2) 現時点での検討事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 英語教育について イ プログラミング教育について ウ アクティブ・ラーニングについて エ 道徳教育について <p>(3) 今後の実施に向けた取組について</p> <p>(4) 学校再編成や小中一貫教育等の取組との調整は。</p> <p>(5) 本市教育行政の目指すべき姿、将来像をどのように描いていますか。</p>	